

みんなく創設 50 周年記念国際シンポジウム

博物館における資料保存の

過去、

現在、

未来

そして

2024年、国立民族学博物館は創設50周年を迎える。この半世紀の間、グローバル化が進み、地球規模での環境問題が顕在化するなど世界は大きく変容し、博物館を取り巻く様相も変わってきた。博物館において所蔵する資料（あるいは文化財）を保存するという一義的な役割は変わってはいないが、環境の変化や技術の進歩により、資料保存の考え方や方法は変化を遂げてきた。本シンポジウムでは、国立民族学博物館を含む国内外の博物館の資料保存の活動を歴史的な観点で捉えなおすとともに、今後の課題を見つめ、次世代における博物館の資料保存のあり方を考える。

2024年 2月10日⑤、11日⑥

両日ともに開場は9:45

国立民族学博物館

みんなくインテリジェントホール(講堂)

形式 会場+オンライン配信

主催：  国立民族学博物館  
National Museum of Ethnology

共催：  文化財保存修復学会  
The Japan Society for the Conservation of Cultural Property

● 総合司会 河村 友佳子 (国立民族学博物館)

## 2月10日

- 10:20-10:30 開会挨拶 吉田 憲司 (国立民族学博物館長)
- 10:30-10:40 趣旨解説 末森 薫 (国立民族学博物館)
- 10:40-11:25 基調講演 日本の博物館における資料保存の歴史  
森田 恒之 (国立民族学博物館名誉教授)
- 11:25-12:10 国立民族学博物館における資料保存の実践  
園田 直子 (国立民族学博物館)
- 12:10-13:30 休憩
- 13:30-14:00 Trends of Preventive Conservation in European Museums(欧州の博物館における予防保存の潮流)  
Anna Bülow/アナ・ビューロ (Stedelijk Museum Amsterdam, Netherlands/アムステルダム市立美術館、オランダ)
- 14:00-14:30 The New Shared Central Storage of National Museums in Thailand  
(タイの国立博物館が共有する新たな中央収蔵施設)  
Nitaya Kanokmongkol/ニタヤー・カノックモンコン (Fine Arts Department, Thailand/芸術局、タイ)
- 14:30-14:40 休憩
- 14:40-15:10 The Future of Integrated Pest Management(総合的有害生物管理(IPM)の未来)  
Tom Strang/トム・ストラング (Overseas Visiting Fellow, National Museum of Ethnology, Japan/国立民族学博物館外国人研究員)
- 15:10-15:40 Sustainable Preservation of Modern Materials. A Case Study in Photographic Archives:  
Challenges and Innovative Approaches  
(持続的な保存に向けて—写真アーカイブを事例とする挑戦と革新的アプローチ)  
Bertrand Lavédrine/ベルトラン・ラヴェドリン (Muséum National d'Histoire Naturelle, France/国立自然史博物館、フランス)
- 15:40-15:50 コメント 神庭 信幸 (東京国立博物館(元))
- 15:50-16:00 第1部閉会挨拶 岸上 伸啓 (国立民族学博物館副館長)

海外の博物館における文化財保存の潮流

第一部

## 2月11日

- 10:20-10:45 東京国立博物館における文化財の保存  
和田 浩 (東京国立博物館)
- 10:45-11:10 日本における総合的有害生物管理(IPM)の潮流  
佐藤 嘉則 (東京文化財研究所)
- 11:10-11:35 写真資料の保存の歴史と実践  
山口 孝子 (東京都写真美術館)
- 11:35-11:45 コメント 佐野 千絵 (東京文化財研究所(元))
- 11:45-13:00 休憩
- 13:00-13:25 文化財防災の観点に立った文化財の保存の潮流  
小谷 竜介 (文化財防災センター)
- 13:25-13:50 日本における文化財の保存と活用の潮流  
間瀬 創 (文化財活用センター)
- 13:50-14:15 市民が担う文化財の保存と継承  
日高 真吾 (国立民族学博物館)
- 14:15-14:25 コメント 木川 りか (九州国立博物館)
- 14:25-14:40 休憩
- 14:40-16:10 総合討論 モデレーター 和高 智美 (合同会社文化創造巧芸)
- 16:10-16:20 閉会挨拶 本田 光子 (文化財保存修復学会理事)

日本の博物館における文化財保存の潮流

第二部

博物館における文化財保存のこれから

第三部

### 申込方法

下記URLまたはQRコードにアクセスいただき、必要事項をご記入の上、お申し込みください。

[https://www.minpaku.ac.jp/ai1ec\\_event/48247](https://www.minpaku.ac.jp/ai1ec_event/48247)



### 申込期間

2023年12月1日(金) 10:00~  
2024年2月2日(金) 17:00

### 定員

[会場] 350名先着順  
[オンライン] 500名先着順  
※共に定員に達し次第、受付を終了します。

### 参加費

無料

### 問い合わせ先

みんなく創設50周年記念国際シンポジウム  
「博物館における資料保存の過去、現在、そして未来」事務局

Email: [bunkazai@minpaku.ac.jp](mailto:bunkazai@minpaku.ac.jp)

本シンポジウムは人間文化研究機構広領域連携型基幹研究プロジェクト「地域文化の効率的な活用モデルの構築」(代表 日高真吾)の成果の一部である。

## 国立民族学博物館 National Museum of Ethnology

● 開館時間 ..... 10:00 ~ 17:00 (入館は 16:30 まで)  
● 休館日 ..... 水曜日(水曜日が祝日の場合は直後の平日)

### 交通のご案内

- 大阪モノレール... [万博記念公園駅]、[公園東口駅]下車徒歩約15分
- バス..... 阪急茨木市駅・JR茨木駅から「日本庭園前」下車徒歩約13分
- 乗用車..... 万博記念公園「日本庭園前駐車場」(有料)から徒歩約5分

※本シンポジウムにご参加の方は万博記念公園各ゲート有人窓口で、みんなくへ行くことをお申し出いただき、通行証をお受け取りください。

※万博記念公園をご利用になる場合は、同園入園料が必要です。

● 観覧料 ..... 一般 580 円 / 大学生 250 円 / 高校生以下 無料  
※観覧料割引についてはホームページでご確認ください。

〒565-8511  
大阪府吹田市千里万博公園10番1号  
Tel: 06-6876-2151 (代表)  
Fax: 06-6878-7503  
<https://www.minpaku.ac.jp>

